

来てみちよくね!
秋のけいちく
歩いて味わう里の秋

京築応援団便り 豊のくに けいちく

Vol.005 2011.秋



京築
まるごと
ナビ
<http://www.keichiku.info/>

京築応援団便り
豊のくに・けいちく

発行：京築応援団事務局（福岡県広域地域振興課内）
企画編集：豊の国海産山菜ネット
問い合わせ：福岡県広域地域振興課 TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail: koiki@pref.fukuoka.lg.jp

上毛町産とれたて新鮮野菜 産直新鮮 さわやか市大平

上毛町にある、【ひとの港 大平楽】は、週末になると家族連れで大にぎわいの一大アミューズメント温泉施設。

国道10号バイパスを上毛町から大分中津方面に進み、ここはもう大分県???と思った頃に、たぬきのマスコット「楽太郎くん」の看板がお出迎えしてくれます。地下1,300mから湧き出る美肌の湯を堪能できる「湯ノ迫温泉・大平楽」に「すぐおいしい・湯上がり屋台」、ペットと泊まれるログハウスやグランドゴルフ場、ドッグランなどなど、楽しい施設が並んでいます。今年の7月にリニューアルオープンした大平楽ですが、温泉と並ぶもう一つの目玉が、とれたて新鮮直売所「さわやか市大平」です。

さわやか市大平は、地元上毛町でとれた「超」新鮮な野菜や果物、豊前海の魚介類などをお手頃価格で購入できる直売所です。ここでは、「その日とれた野菜を、その日のうちに売り切る」というルールが徹底され、閉店時間に残っている野菜はその日のうちに生産者さんに持って帰っていただくそう。だから「超」新鮮だと言えるんですね。（なので夕方は商品が品切れになる場合がありますので午前中がお勧め!☆AM8:00 OPEN☆）

さわやか市大平の名物は、なんといっても『満巻』。でっかくて、甘い玉子焼きがどーんと入った太巻きは、ほどよい塩けの小松菜やかんぴょうと玉子焼きの甘みが絶妙な味わいで、1日に280本も売れることもあるとのこと。オープンキッチンとなっている「満巻カウンター」では、贅沢に卵10個を使った玉子焼きを焼くところから、寿司を巻き上げるところまで間近で見ることができます。

「満巻」と人気を二分するのが、「キッチン工房」さんの「チムニーブレッド（煙突パン）」です。煙突のような円筒形をしたパンで、外側はさくさく、中はふわふわ。種類はプレーン・くるみ・レーズン・ごまなどがあり、リピーターの方も多く、週末には1日に500個近く売れる人気商品なのだそう。

さわやか市大平内の「思い出土産物産館」では、特産の川底柿を使った「干し柿ようかん」とゆずを使った「ゆずようかん」なども、店員さんお勧めのお土産です。

豊かな自然の中でとれた新鮮食材に出会えるさわやか市大平に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



このコーナーでは
京築地域での
直営所や道の駅
情報をお届けします。



【問い合わせ】
産直新鮮
さわやか市大平
■場所
〒871-0923
福岡県上毛町下唐原1621
■営業時間 8:00~18:00
■休日 年末年始
■連絡先 TEL0979-72-3945
■駐車場
普通車400台・大型バス20台収容
■ホームページURL
<http://www.taiheiraku.jp>
湯ノ迫温泉 大平楽 :0979-84-7654
すぐおいしい「湯上がり屋台」:0979-84-7526

No.005

川底柿

川底柿は豊築地区原産の柿で、古くから上毛町内で栽培されている渋柿です。もともとは山野に多くあった自然の渋柿が長い間に淘汰され、現在の川底柿になったと言われています。

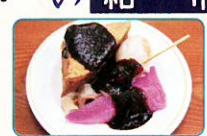
川底柿は4本の縦溝がその特徴で、種も少なく、非常に高い糖度をもっていることから、渋抜きをして食べると甘柿とはちがった独特の甘みを味わうことができます。また、干し柿にも最適で、古くは小倉藩主細川忠興にも献上された記録もあるほどの名産品。古来より現在に連綿と続く幻の柿と言えます。昭和51年に設立した大平川底柿生産組合では、天日干しの川底柿を使用するなど、素材と手づくりこだわった「柿ようかん」を開発し、先人達が受け継いできた伝統を今に伝えています。



昭和30年代から現在まで脈々と伝統を守り続けた「三徳ラーメン」は、行橋市民の懐かしいふるさとの味を今も変わらずに提供し続けています。おでんと一緒に食べると、辛子で食べる庶民の味、そのおでんと行橋市では八丁味噌ペースの甘い生姜風味の味噌だれでいただきます。また、最近では九州Bリーグランプリ出場をはじめ、B級ご当地グルメとしての認知度が少しずつ高まり始めています。しかし、行橋市で生まれ、育った行橋市民たちが、お盆正月の帰省の際、必ず食べなくてはならない味だれのおでんが、京築地域の皆さんの中でも味噌だれのおでんを食したことが無いと言った声をよく耳にします。是非一度食入にきてください。

■おでん各種 90円(税込)

食お紹介 話題の 行橋名物



三徳ラーメン本店
行橋市中央3丁目 Tel. 0930-22-1544
三徳ラーメン駅前店
行橋市西宮市2丁目 Tel. 0930-23-2468



『京築応援団』
団員募集中!
京築を応援するファンクラブに入いませんか?
お申し込みは京築地域情報発信サイト
「京築まるごとナビ」から
<http://www.keichiku.info/>



2011 Autumn
秋
Vol.005
発行 2011/9/1

その昔、山伏たちは豊北の山なみを巡り、回峰行と呼ばれる修行に挑んだ。修験の里に暮らし、わが身を自然の中に晒し、そこから多くのことを学んだことだろう。

秋、山は紅葉の時期を迎え、人々はその鮮やかな彩りにいざなわれるように、かつての聖地に足を踏み入れる。五感を研ぎ澄まし、自然の息吹を感じながら、生きとし生けるもの、全ての命に敬意を払う。

そして人は自然の尊さと、その恩恵を知ること。かつて山伏が住んだ、聖なる山々は、命の水を育み、癒しの空間として、人をつなぐ祭礼の場、営みの原点として、そこにあり続ける。

さあ、京築の野山を歩こう。山懐に擁かれるために。

行橋産業祭「愛らんどフェア」【行橋市】

◎日時 11月中旬
9:00～16:00予定
◎場所 行橋総合公園・芝生内
(行橋市今井3759)
《お問い合わせ》行橋市 商工水産課
☎0930-25-1111

秋の収穫感謝祭 【行橋市】

◎日時 10月29日(土)
9:00～16:00
◎場所 JA福岡みやこ本所敷地内
(行橋市西宮市5丁目11-1)
《お問い合わせ》J A 福岡みやこ本所
(総務企画課)
☎0930-24-2611

上毛祭 【上毛町】

◎日時 10月9日(日)
◎場所 大ノ瀬官衙遺跡
(道の駅しんよしとみ横)
150万本のコスモス畑に囲まれた大ノ瀬官衙遺跡で開催するお祭りです。子ども神楽フェスティバルや、200kgの米俵をリヤカーで引いてタイムを競う奉納台車レースなど、盛りだくさんの内容です。
《お問い合わせ》上毛町企画情報課
☎0979-72-3111

秋の味覚祭り(柿・柚子まつり)【上毛町】

◎日時 11月21日(月)～11月27日(日)
◎場所 さわやか市大平
町の名産品「川底柿」をはじめ、富有柿、柚子などを特設会場で販売します。
《お問い合わせ》さわやか市大平
☎0979-84-7654

2011 エコテンレース in 苅田【苅田町】

◎日時 10月16日(日)
受付9:00 レース開始11:00
◎場所 九州電力株式会社苅田発電所内
特設コース(苅田町長浜町1番1号)
エコテンレースとは、与えられた電気エネルギー(バッテリー)を効率良く利用して、自作電動自動車の走行距離を競う大会です。
《お問い合わせ》大会実行委員会事務局
(福岡県立苅田工業高等学校)
☎093-436-0988

秋満喫祭 【苅田町】

◎日時 10月29日(土)
◎場所 苅田町白川地区
地元特産品(苅田白川米など)の販売。
パラグライダー大会や花火の打ち上げもあります。
《お問い合わせ》秋満喫祭実行委員会事務局
(苅田町地域振興課)
☎093-434-1809

※[等覚寺 森のコンサート]に關してのお問い合わせは苅田町教育委員会(「苅田山笠」のお問い合わせ先と同じ)まで。

等覚寺 森のコンサート 【苅田町】
◎日時 10月15日(土)
◎場所 白山多賀神社境内(白川地区)
◎出演 栗コダーカルテット[料金:1,000円]
《お問い合わせ》四季の音楽会実行委員会

苅田山笠 【苅田町】
◎日時 10月2日(日)
◎場所 苅田町役場前広場
苅田町宇原神社の神幸祭で、県無形民俗文化財に指定されています。2週間にわたるお祭りの間に灯山、籠山、飾り山と三度姿を変え、別名「けんか山笠」としても知られています。
《お問い合わせ》苅田町教育委員会
☎093-434-1982

船迫窯跡コンサート 【築上町】
◎日時 10月1日(土)
17:30開場 18:00開演
◎場所 船迫窯跡公園古代復元建物
(築上町大字船迫)
《お問い合わせ》船迫窯跡公園(月曜休館)
☎0930-52-3771

大楠コンサート2011 【築上町】
◎日時 10月15日(土) 18:00～
◎場所 本庄「本庄の大楠」(築上町大字本庄)
《お問い合わせ》100 葉会 白川携帯
☎090-5281-3107

もみじ祭り＆もみじウォーキング大会 【築上町】
◎日時 もみじ祭り:11月12日(土)、13日(日)
もみじウォーキング:11月12日(土)
◎場所 町内全域
※もみじウォーキングは事前申込み要
《お問い合わせ》築上町観光協会(商工課)
☎0930-52-0001

第5回築上町「神楽・民俗芸能祭」【築上町】
◎日時 11月20日(日) 9:00～予定
◎場所 築上町中央公民館(築上町大字高塚)
《お問い合わせ》築上町企画振興課
☎0930-56-0300

築城基地航空祭 【築上町】
◎日時 10月2日(日)
◎場所 築城基地(シャトルバス運行)
※当日は基地内に一般駐車場を設けておりません。
ご来場の際は公共の交通機関をご利用下さい。
《お問い合わせ》築城基地渉外室広報班
☎0930-56-1150

第33回 吉富町文化祭 【吉富町】
◎日時 11月5日(土)、6日(日)
5日:10:00～16:00 6日:9:30～15:00
◎場所 吉富フォーユー会館周辺
文化協会員の制作した作品の展示、発表、食進会による試食会、フリーマーケットなどが行われます。※吉富神楽による演目披露もあります。
《お問い合わせ》吉富町教育委員会
☎0979-22-1944

御神幸 【吉富町】
◎日時 9月18日(日) 8:00～15:00予定
◎場所 八幡古表神社(吉富町小犬丸)から出発、町内各地区を巡行し、再び神社へ戻る
古表神社の鎮座を記念した大祭で、各区の太鼓に傘装を仕立て、太鼓や笛、チャンガラの囃子をしながら、神輿とともに町内を巡行し、皇后石の奥の宮で神幸祭を行なう伝統行事です。
《お問い合わせ》吉富町産業建設課
☎0979-24-4073

壺神社の献水神事と水占い【吉富町】
◎日時 10月14日(金) 5:00～
◎場所 壺神社(吉富町土屋)
毎年10月14日に行われる壺神社の秋祭り神事で、地元土屋区の氏子の中から選ばれた若者が櫓一つで佐井川から手桶に水を汲んで持ち帰り、その浄水を神主が神霊の宿る壺に献水し、神霊に納まった水の量によって翌年の五穀成就に必要な降水の過不足を占う神事です。
※当日は土屋神楽踊による神楽奉納があります。(13:00～22:00)
《お問い合わせ》吉富町教育委員会
☎0979-22-1944

京築 神楽と食の祭典2011【豊前市】
◎日時 11月6日(日) 10:00～17:00
◎場所 京築神楽伝統文化会館
(豊前市立多目的文化交流センター)
豊前市大字八屋1776-2
京築の代表的な伝統文化である「神楽」と「豊かな食文化」の魅力を一度に堪能できるイベントです。また、京築神楽をテーマにした写真を来場者が審査する「京築神楽フォトコンテスト」も開催します。「京築祭のこころ」スタンプラリーに参加して、京築の特産品や名物料理をお楽しみいただく、豪華賞品が当たるかも!。
《お問い合わせ》京築連帯アメニティ都市圏推進会議
(福岡県広域地域振興課)
☎092-643-3178

県民文化祭 【豊前市】
◎日時 11月5日(土) 18:00～20:00
◎場所 豊前市立多目的文化交流センター
天狗太鼓20周年行事などがあります。
《お問い合わせ》豊前市総合政策課
☎0979-82-1111

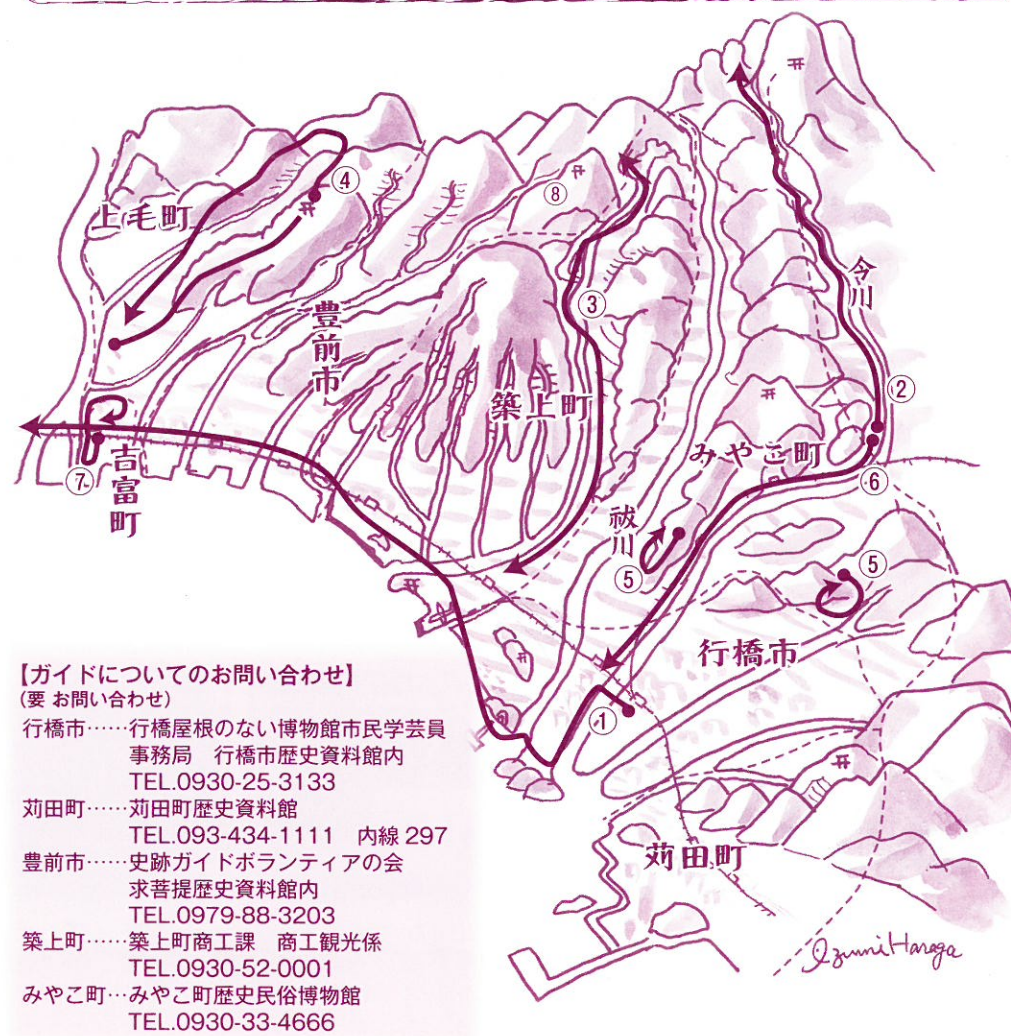
古代のものづくり体験教室
◎日時 10月23日(日) 【みやこ町豊津】
◎場所 みやこ町歴史民俗博物館
土器づくり・ハニワづくり・勾玉づくり・火おこしの体験教室
参加費:500円(実費材料費・保険代)
《お問い合わせ》みやこ町歴史民俗博物館
☎0930-33-4666

古墳フォーラム「トークイベント」 【みやこ町勝山】
◎日時 11月26日(土) 13:00～
◎場所 サン・グレートみやこ ホール
文化を活かしたまちづくりの一環として開催するトークイベントです。
主な内容:「日本考古学の父 ウィリアム・ガウランドの足跡」
大英博物館特別研究員 後藤和雄氏
「発見!発信!みやこ町の文化資源」
出演者:藤原恵洋氏(九州大学大学院教授)※コーディネーター
後藤和雄氏(大英博物館特別研究員)
スズアキコ氏(帽子作家・イラストレーター・ほぼ日刊イトイ新聞「ひとりの古墳部」掲載)
《お問い合わせ》みやこ町歴史民俗博物館
☎0930-33-4666

京築神楽イメージキャラクター「みさきくん」



野山から吹いてくる涼風に誘われて自然豊かな京築地域をウォーキングしてみませんか?
各町村恒例となっている人気ウォーキング大会や、ゆっくり一人で散策を楽しむウォーキングコースなどをご紹介します。かつて京築の野山を闊歩した山伏の心にひたった後は、秋の多彩な食材を直売所などでお求めください!



【ガイドについてのお問い合わせ】
(要 お問い合わせ)
行橋市……行橋屋根のない博物館市民学芸員事務局 行橋市歴史資料館内
TEL.0930-25-3133
苅田町……苅田町歴史資料館
TEL.093-434-1111 内線 297
豊前市……史跡ガイドボランティアの会
求菩提歴史資料館内
TEL.0979-88-3203
築上町……築上町商工課 商工観光係
TEL.0930-52-0001
みやこ町……みやこ町歴史民俗博物館
TEL.0930-33-4666

知っちゃう?京築「ウォーキング学」

特集!

2011-Aut
Keichikuwalkinggaku

広域ウォーキング

①未知への冒険【別府～行橋】100キロウォーク
時:10/8(土)12:00スタート～10/9(日)14:00 [26時間]
行橋正八幡宮(行橋市神田町8-1)～大分県別府のヶ浜公園のゴール100キロを歩きます。(参加者は締め切りでしたが、沿道で声援しましょう!)
主催:行橋～別府 100キロウォーク実行委員会
お問い合わせ:093-961-2612
②天水海ウォーク【英彦山・行橋】(みやこ町)
時:9/18(日) 8:00スタート
源じいの森から英彦山豊前坊高住神社、行橋市など3コース(45km、30km、15km)を歩きます。
参加費:2000円(9/10締め切り)
お問い合わせ:吉武 0930-42-0274

町村エリア内

③もみじウォーキング大会(築上町)
時:11/12(土)
築上町内4コース(24km、18km、9km、4km)を歩きます。
ゴールは牧の原キャンプ場です。(要事前申し込み 締め切り 10/21)
もみじ祭りも同時開催。野菜や特産品・猪鍋などをお楽しみ下さい。
参加費:大人…1500円 小中学生…500円
お問い合わせ:築上町商工課 0930-52-0001
④松尾山修験道回峰行(上毛町)
時:11/5(土) 7:00スタート
ふれあいの家京築から松尾山、雁股トンネル、九州自然歩道、岩屋地区を歩く28km。松尾山匠王寺の山伏達が行っている峰入修行の行橋を巡るウォークイベントです。完歩後の夕食では「山伏料理」が振る舞われます。
参加費(1泊夕食付):4,000円
お問い合わせ:上毛町総合窓口課 0979-72-2111
⑤みやこ町古墳めぐりウォーキング
時:11/3(木):祝日
勝山コース…みやこ町役場から縁塚古墳、楊塚古墳などを歩きます。
豊津コース…みやこ町歴史民俗博物館から甲塚古墳、八景山ヶ麓古墳群などを歩きます。
参加費:200円 弁当持参
お問い合わせ:みやこ町歴史民俗博物館 0930-33-4666

トレイルコース

⑥お江の時代を歩こう自然と文化満喫コース
行橋市 馬ヶ岳城跡遊歩道 豊田秀吉が九州上陸後、黒田如水が居城していました。大谷登山口から山頂まで登山道が整備。今川と豊前海を望む展望から、お江の時代へタイムスリップしてください。
お問い合わせ:行橋市文化課 0930-25-1111
⑦吉富町～歴史探訪ぐるり一周コース～
JR吉富駅から山国川河川堤防下→八幡古表神社→皇后石→八坂神社→壺神社→佐井川河川公園→鈴鹿山公園→天仲寺山公園→JR吉富駅 奈良時代を起源とする備置子(くぐつ)の神相模が奉納されている八幡古表神社、行基が建立したという修験の寺、鈴熊寺(れいゆうじ)など山国川の風に吹かれて12キロのコースをお楽しみください。
お問い合わせ:吉富町 産業建設課 0979-24-4073
⑧求菩提自然満喫コース
修験道を体験しよう!
国指定史跡である「求菩提地区」。今も残る数々の史跡を訪ねながらウォーキングを楽しみます。後半は、その歴史を勉強する求菩提資料館や犬ヶ岳の紅葉を堪能しながらのヤマメ料理などいかがですか。
お問い合わせ:豊前市総合政策課 0979-82-1111

に「豊かさの源」シリーズを残っていたことを発見。その驚きが、「郷土誌犀川」を創刊し、犀川郷土史会が発足する原動力になったそうです。昭和56年の創刊号からみやこ町が合併した平成18年の24号まで続いたこの冊子は、その後に「郷土誌みやこ」となり現在も続いています。また、小学校退職後の平成3年から10年まで豊津町歴史民俗資料館の館長、現在はみやこ町郷土史会の会長、みやこ町文化財保護委員を歴任されておられます。
野中さんの根底に流れるものは、小学校教師として培われた子どもの目線です。「郷土誌犀川」には自筆の絵入りで、自然とふれあった子ども時代の遊びの記録も連載し、子どもたちに受け継いでいかねばならない貴重な記録となっています。また、伊良原ダム民俗文化財調査委員会の一人として調査に関わった「伊良原民俗文化財の調査」では、伊良原地区の年中行事を記録し、「伊良原四季のくらしと祭り」というビデオ作品も制作しました。この作品は伊良原をふるさとにもつ青年の目線で、山里の人たちが受け継いできた宝を伝えるビデオメッセージです。昭和40年代、伊良原小学校の一教師であった野中さんが、放送教育を通して山里の子どもたちに地域を見る目を育てていくとした想いがこめられているように感じます。自然・歴史・文化、地域資源豊かな京築地域において、次世代に何を伝え、何を残すか?朝日新聞掲載の子どもたちの詩の欄「小さな目」の選者を10年間もつとめた野中さんが培ってこられた、地域を見つめる子どもの目線を大切に受け継いでゆきたいものです。
(原賀いずみ)

学校教育一筋だった野中さんが郷土の歴史の掘り起こしに取り組むようになったのは昭和48年、母校の城井小学校百周年記念行事の「郷土史班」となり、記念誌「郷土誌城井」の制作がきっかけでした。地域の文化が薄れ始めた時期に、仲間たちと地域の歴史を調べてゆく中で、文字もよくかけなかった明治2年生まれの祖父たちが語ってくれた宇都宮氏の物語が、史実として記録

中世の豊前の国を400年間治めていた大名といえば、鎌倉幕府から平家追討を命じられた鎌倉御家人宇都宮氏。宇都宮氏が約200年間住んでいた、祓川の中流域、みやこ町犀川・木井谷にある神楽山城のお膝元に暮らし、みやこ町郷土史会の牽引役を担ってこられたのが野中さんです。
野中さんは昭和7年生まれの79歳。小学校、中学校の教師を勤め、子どもたちが自分や地域をみつめ表現する力を育てる放送教育や国語教育に力を注ぐ傍ら、郷土史編纂を続けてこられました。

「豊かさの源」シリーズ

「豊かさの源」シリーズ
京築(けいちく)は、海の幸、山の幸の恵みと修験道や神楽などの文化が受け継がれた「豊かなく」。このコーナーでは、豊かさの源を支えている「ひと」たちを毎回ご紹介していきたいと思っています。
5人目